

# 農と建築

シリーズ「建築のみかた」第16回

普段私たちが口にする食は一体どこからきているのだろうか。近代以降、農が暮らしから離れ、産業化されることで、遠く離れた場所から安定した食糧を届けてくれる。しかし、そうした離散的なネットワークがつくる風景を私たちは想像できているだろうか。都市と農村のなかでもう一度農を暮らしに近づけ、風景を取り戻す方法を探りたい。

今回は『ブシコ ナウティカ:イタリア精神医療の人類学』の著者である人類学者の松嶋健氏、シモキタ園藝部の企画と立ち上げ、運営に関わってきたランドスケープデザイナーの三島由樹氏、『Foodscape フードスケープ:図解食が作る建築と風景』の著者である正田智樹氏の3人のトークセッションを行う。議論の中から、人類学、ランドスケープ、建築のそれぞれの立場から、これからの農と建築について改めて考えていきたい。



松嶋 健

人類学者  
広島大学 教授



三島 由樹

ランドスケープデザイナー  
株式会社フォルク



正田 智樹

一級建築士  
株式会社竹中工務店

2025年3月25日(火)

18:30 - 20:30 (開場:18:00)

定員:150名 (申込先着順)

参加費:一般(会員) 1,500円 / 学生(会員) 1,000円

一般(会員外) 2,200円 / 学生(会員外) 1,100円

■オンラインセミナー

定員:500名 (申込先着順)

参加費:一般(会員) 1,000円 / 学生(会員) 無料

一般(会員外) 1,650円 / 学生(会員外) 無料

建築会館ホール

東京都港区芝5-26-20

(オンライン配信あり)

下記URLコードより建築学会のホームページにアクセスいただき申し込みください

建築会館ホールでの参加の場合

<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=702482>

オンラインでの聴講の場合 (Zoomによる聴講)

<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=702483>



主催:日本建築学会関東支部